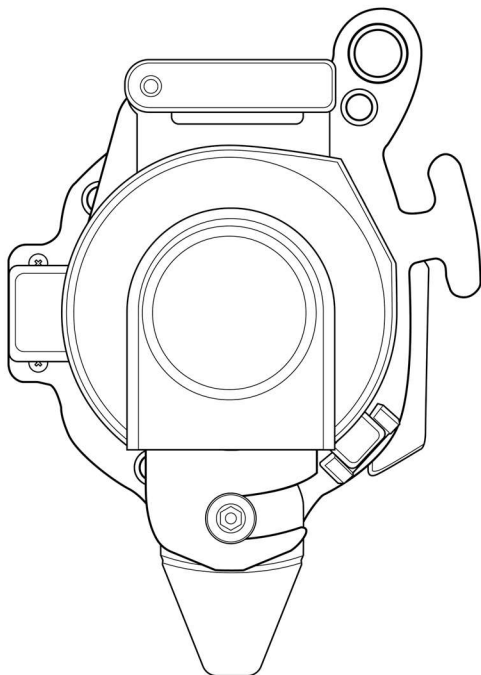


NSC パワーアセnder PRO™ 取扱説明書

動力分離型 多目的機器 (Power Separated Multipurpose Devices)

by Kenz



各部の名称.....	2
必要機材／付属品／別売品.....	4
安全上のご注意	5
使用前点検.....	9
事前準備	10
機能テスト及び登下降手順.....	12
資材や人の引き上げ／引き下げ手順	15
定期点検／お手入れ／保管.....	16
諸元表.....	18
保証とアフターサービス	19

-
- ・ このたびは本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
 - ・ 本製品は日本国内での使用を想定しています。本製品を日本国外で使用しないでください。
 - ・ 本製品は充電式ドライバーを普段から使用されている方に向けて作られています。
充電式ドライバーを使用したことがない方は事前に充電式ドライバーの使用方法を学んでください。
 - ・ 本製品の動力としてインパクトドライバーは使用できません。
 - ・ 本製品はロープ高所作業のプロフェッショナル専用機材です。
 - ・ 本製品の使用に関して少しでも不安があれば、Kenz による有料の取扱説明講習を受講してください。
 - ・ 本製品は防水性能が IPX6 の充電式ドライバーと組み合わせることにより雨天でも使用可能です。
 - ・ 本書では製品の正しい使用方法および点検方法を説明しています。
 - ・ ご使用の前に必ずお読みいただき、使用方法を習得し正しく安全にお使いください。
 - ・ 最新の情報やその他の補足情報は下記で参照できますので、定期的に確認してください。
<https://kentechsystems.net/>
 - ・ 警告および注意事項に留意し、製品を正しく使用することは使用者の責任です。
本製品の誤使用は危険を増加させます。
 - ・ 本書内で説明のために使用されている充電式ドライバーは、
マキタ製 充電式ドライバドリル DF001GZ 並びにマキタ製 40Vmax リチウムイオンバッテリーです。
 - ・ 水に浸けたことのないロープや、新しいロープは、水に一晩以上浸けて陰干ししてから使用してください。

各部の名称

正転：時計回り 逆転：反時計回り

登高および引き上げ時の充電式ドライバーの回転は「逆転」

各部の名称

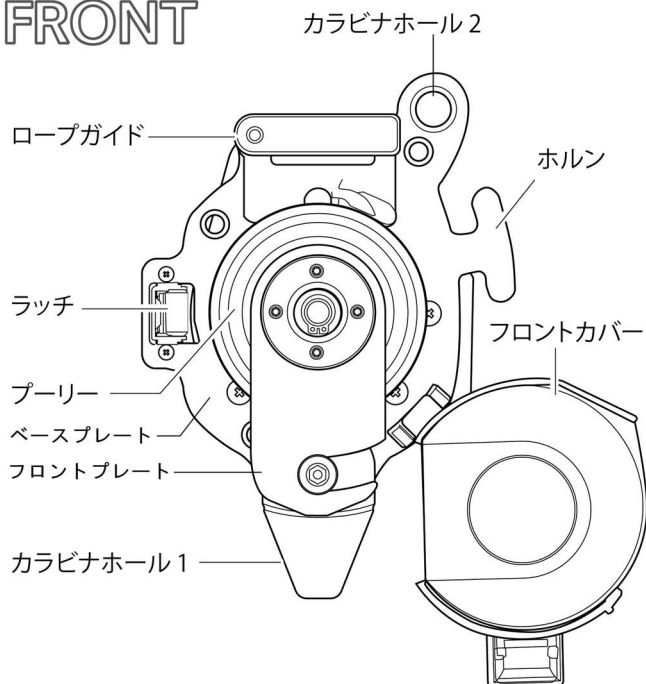
NSC パワーアセnder PRO™

本製品は動力分離型 多目的機器です。

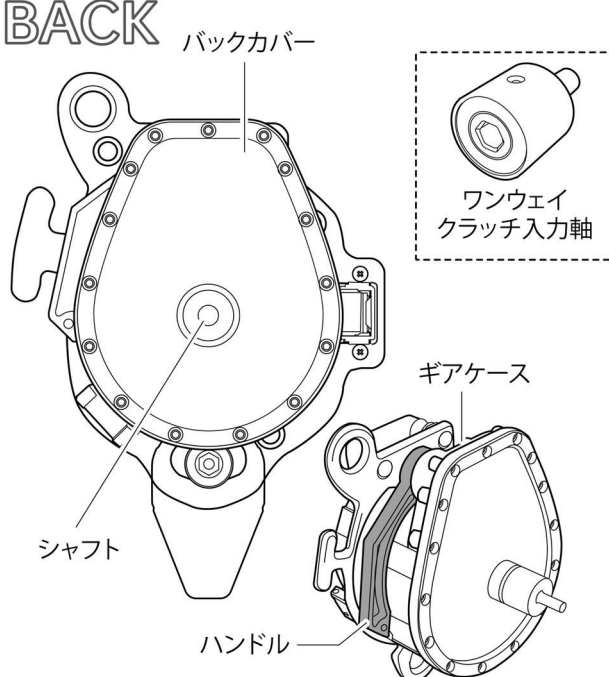
充電式ドライバーがあれば、資材や人の引き上げ器具として使用できます。

充電式ドライバーがなくても、資材や人の引き下げ器具として使用可能です。

FRONT



BACK



主な素材

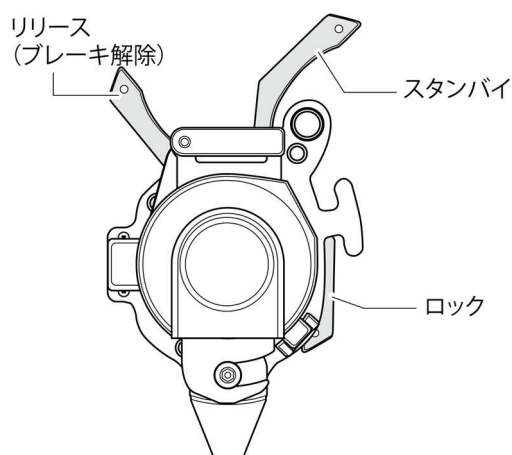
- ・主要部品：ジュラルミン A7075
- ・減速機：スチール
- ・フロントカバー：ポリカーボネート

使用限界荷重（WLL）

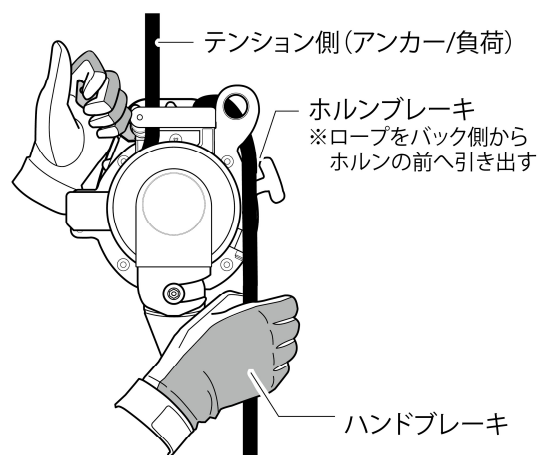
- ・ 1.40kN

※ 本製品に掛かる最大の荷重が 1.40kN ということです。
どのような状況でも 140kg の物を上げられるということ
ではありません。

ハンドルのポジション

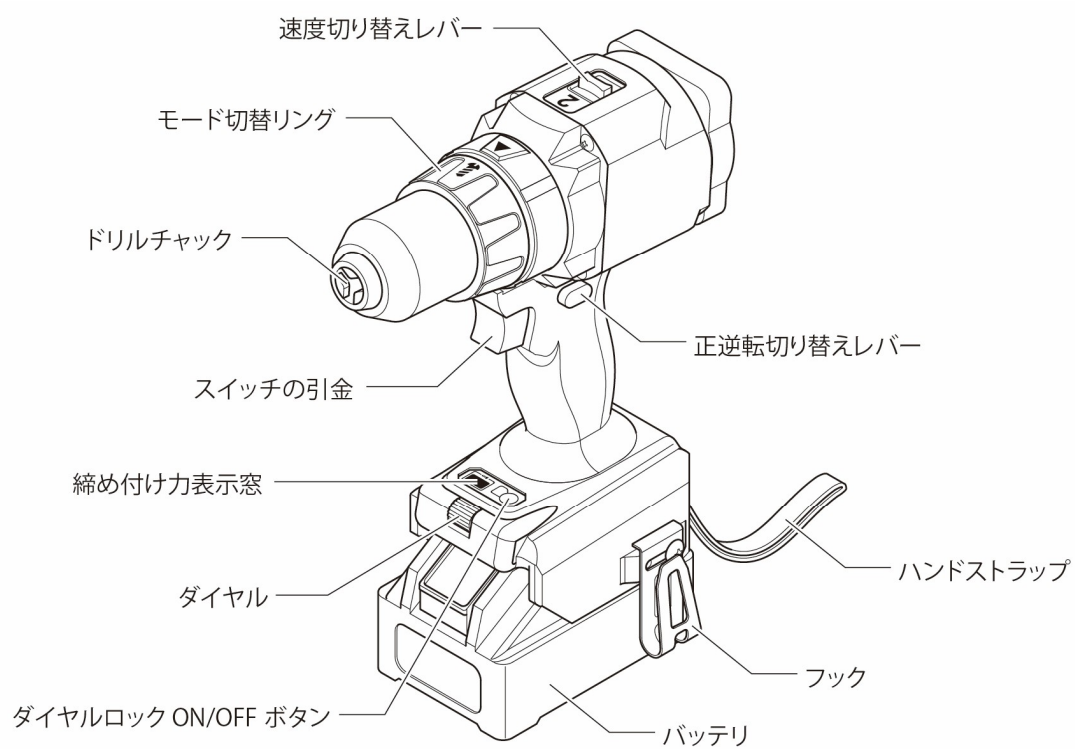


ロープのポジションとブレーキ



充電式ドライバー

※ 詳細はメーカー取扱説明書参照



各部の名称

必要機材／付属品／別売品

必要機材	数量
NSC パワーアセnderPRO （本製品、ワンウェイクラッチ入力軸を含む）	1
充電式ドライバー（別売品）	1
SRT（シングルロープテクニク）登下降システム（別売品）	1
フォールアレストシステム（別売品） （エネルギーショックアブソーバー付きモバイルフォールアレスターおよびライフライン）	1
ランヤード（別売品）	1

付属品	数量
ワンウェイクラッチ入力軸	1
プーリースペーサー（厚みは2種類あり、1.0mm 及び 1.5mm） ・ロープ径 11.0mm を選択された方は、1.5mm のスペーサーをプーリーに取り付けて出荷します。 （プーリーが空回りする時は、1.5mm のスペーサーを 1.0mm に変更して下さい。） ・ロープ径 10.5mm を選択された方は、1.0mm のスペーサーをプーリーに取り付けて出荷します。	1
取扱説明書（本書） ※ 弊社ホームページからもダウンロード可能	1

※ 充電式ドライバーの付属品は、充電式ドライバーに付属の取扱説明書をご確認ください。

※ ロープガイドのボビン、回転する必要はありません。ロープとの摩擦によりボビン部分が擦り減った時に、安価で交換できるようにロープガイドと別体になっております。

安全上のご注意

- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、使用者や第三者への危害や損害を未然に防止するためのものです。
- 本製品の使用に関する重要事項及び注意事項に関しては、警告のマークがついています。
- 重要事項及び注意事項は次のように区分けされ、すべて重要な内容ですので必ずお守りください。

危険や損害の程度を表すマーク



記載されている内容を守らなければ、ロープの切断や墜落により、人が死亡または重傷を負う危険がある事項



記載されている内容を守らなければ、ケガや障害事故の生じる危険がある事項



記載されている内容を守らなければ、ケガや障害事故並びに製品が故障する危険のある事項

守っていただく内容の種類を表すマーク



してはいけない「禁止」の内容



必ず実行していただく「強制」の内容

- 本書では、本製品を使用するための技術や使用方法に関していくつかの例を掲載しています。
- ただし、製品の使用に関連する危険に関して、すべてをここに網羅することはできません。
- 本製品の使用および本製品を使用する全ての活動には危険が伴います。
使用者はその危険について理解してください。
- 本製品の使用者が自分自身の行為・判断、および安全の確保について責任を負い、またそれによって生じる結果についても責任を負うこととします。
自分自身で責任が取れない場合やその立場にない場合、また本書の内容を理解できない方は使用しないでください。
- 本製品の使用前に必ず本書を熟読し、本製品の機能とその限界について正しく理解して使用してください。
- 本製品を使用する前に、必ず地上から 2m 以下の高度で本製品の取扱訓練を行ってください。
- 本製品の使用方法がわからなければ、Kenz (E-mail : k-ogura@kentechsystems.net) に連絡し、正しく使用するための適切な指導を受けてください。
- 本製品は使用方法を熟知していて責任能力のある方、あるいはそれらの方から目の届く範囲にて直接指導を受けられる方のみが使用してください。
- 本書に記載されている注意事項を無視または軽視すると、重度の障害を負うまたは死亡する危険があります。
- 水に浸けたことのないロープや、新しいロープは、水に一晩以上浸けて陰干してからから使用してください。

⚠ 危険



禁止

フロントカバーが開いたままの状態で使用しない

プーリーからロープが外れ墜落する危険があります。



必ず実行

ライフラインおよびモバイルフォールアレスターを別途セットアップする

本製品は個人保護用具（Personal protective equipment）ではありません。

使用前点検を行い、ボルトなどの緩みがないことを確認する

ロープが外れ、墜落する危険があります。

使用前に充電式ドライバーの締め付け値（以下、トルク）を適正な値に合わせる

適正なトルク管理が行われていれば、指定トルク値以上の力が充電式ドライバーに掛かった場合、クラッチの作用で空回りしてそれ以上巻き上げません。

しかし、充電式ドライバーのクラッチダイヤルで適正なトルク管理を行わない若しくは充電式ドライバーをドリルモードで使用情况、人体の損傷、本製品の破壊、もしくはロープが切断されるまでロープを巻き上げます。

レスキュープランを立ててから作業を行う

使用中に意識を失うもしくは動きの取れない状態になった場合、最短3分で重度の障害を負うまたは死に至るおそれがあります。（肺血栓塞栓症および挫滅症候群）

使用中に異常（異音、振動、不定回転）などを感じた場合は、直ちに使用を中止する

Kenz までご連絡ください。

（E-mail : k-ogura@kentechsystems.net）

傷んだロープは使用しない

パワーアッセンダーによる登高は、動力を使用しない登高に比べて、ロープが傷みます。ロープは消耗品ですので、使用者の責任において傷んだロープは破棄してください。（傷んだロープを使い続ければロープが破断し、墜落する危険があります。）

⚠ 警告



禁止

だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は着用しない

回転部に巻き込まれ、首が絞まり窒息する恐れがあります。

登高開始の巻上時に、プーリーは回転しているが、ロープを巻き上げない場合（空回り時）は、そのロープを使用しない

規内内の太さであるロープが空回りするときは、プーリーはコアを掴まずに外被だけを巻き上げています。その結果、外被がプーリーとロープガイドの隙間に入り込み、外被が破断するおそれがあります。



必ず実行

長い頭髮は束ねてヘルメット内に納める

頭髮をプーリーに巻き込まれ、頭皮が剥けるおそれがあります。

水に浸けたことのないロープや、新しいロープは、水に一晩以上浸けて陰干ししてから使用する

外被が締まっていないロープを使用すると、外被が破断するおそれがあります。

登高器及び下降器を携行する

本製品が下降できなくなった際のチェンジオーバーに備えて、必ずハンドル付きアッセンダー、チェストアッセンダー、ディセッダーの三点を携行してください。



禁止

過度にほこりのあるところ、水中では使用しない

ほこりや水に対する影響が小さくなるように設計（IP56 相当の防塵・防水性能を保持）していますが、故障しないことを保証しておりません。

（IP 保護等級の例）

IP5X：有害な影響が発生するほどの粉塵が中に入らない（防塵型）

IPX6：いかなる方向からの強い水の直接噴流によっても有害な影響を受けない

本製品を使用中に第三者を近づけない



必ず実行

本製品を使用した時間を管理する

本製品は 800 時間若しくは 2 年のより短い期間ごとに分解点検が必要です。必ず本製品を使用した時間及び使用を開始した日付を Excel などに書きとめ管理してください。

使用する充電式ドライバーに合わせたトルク管理を行う

【トルク値の算出方法】

- ① フルハーネスを着用し本製品および充電式ドライバーを身につけ、自分の体重を量る。（80kg とする）
- ② 本製品に充電式ドライバーを取り付け、トルクを 1（最小値）にし巻き上げる。（1 では巻き上がらない）
- ③ 巻き上がるところまで、トルクを 1 つずつ上げていく。
- ④ トルク 3 で巻き上がったと仮定した場合、 $80\text{kg} \div 3 = 26.66\text{kg}$ 、トルク 1 で約 27kg （ 0.27kN ）を巻き上げることができた計算となる。

本製品の使用限界荷重（WLL）

$1.40\text{kN} \div 0.27 = 5.18$ 、トルク 5.18 で 1.40kN を巻き上げられる計算となるため、トルク 6 以上での使用は禁止となる。

充電式ドライバーのドリルチャックの周りにスリングやロープがないことを確認する

摩擦熱でスリングやロープが熔解し切断される危険があります。

他の登下降システムの機能を妨げないことを確認する



必ず実行

本製品以外の登下降に使用する機材ならびにバックアップ機材が、使用する国の最新規格に適合していることを確認する

許容された荷重内で使用する

本製品が過熱し故障およびロープにダメージを与えるおそれがあります。

※本製品の使用限界荷重は 1.40kN です。

適合ロープを使用する

本製品で使用可能なロープは、セミスタティックロープ EN1891-A（ $10.5\text{mm} \sim 11.0\text{mm}$ 伸び率 3%未満）並びに スタティックロープ ANSI Z359.15（ 11.0mm ）の規格に適合したロープです。

ただし、伸び率の大きなロープは、荷重が掛かるとロープが伸びて直径が細くなります。直径が 1 割以上細くなるロープはブリーが空回りして巻き上げることができません。）

ロープの直径が同じ 11mm でも、ロープの使い方、掛かっている荷重、メーカーの違い、ロープの状態（濡れている、凍っている、泥付き、薬品付き）等で、ロープが本製品内で空回りすることがあります。

Kenz では市場にあるすべてのロープで試験を行ったわけではありません。ロープを使用する前にメーカーの取扱説明書を確認してください。

ロープは一般的に経年劣化し強度が落ちますので、使用者自らの責任でロープを更新してください。

ロープは常に清潔に保つ

砂などの付着したロープを使用すると、本製品の消耗が早まります。

本製品の材質はアルミ材が主体のため、アルミ材の粉がロープに付着しロープが黒ずむことがありますが、使用に関しては問題ありません。

連続使用するときは、諸元表に記載された巻き上げ距離数を守る

定められた距離数以上の連続使用をするときは、間に 15 分間の休憩をいれてください。

下降スピードを守る

本製品の最大下降スピードは毎秒 1.0m です。それより速いスピードで下降すると内蔵されたブレーキシステムおよびワンウェイクラッチに負荷が掛かり、故障するおそれがあります。

制動方法を守る

本書 P2 に記載してある制動方法を守ってください。特に負荷が大きい場合には、カラビナなどを使用し抵抗を増やしてください。

⚠ 注意



必ず実行

本製品での下降時は、制動用ロープをロープガイドの後側へ引き出し、さらにホルン上部から前面へ引き出し右手で固定し、ホルンと右手の握力でロープをコントロールして下降スピードを調整する

ハンドルの角度により下降スピードの調整を行うと、本製品が熱を持ち寿命が短くなります。

本製品を落下させた場合は本製品の使用中止し、必ず Kenz での検査を受ける

充電式ドライバーは、各充電式ドライバーメーカーの使用方法に従い取り扱う

充電式ドライバーを**低回転**で3分以上使用しない

低回転で運転し続けると、充電式ドライバー内部の熱を排出できず内部に熱がこもり、オーバーヒートをおこし自動で停止します。その際は、充電式ドライバー内部の熱が冷めるのを待ち、再度登高を開始してください。

本製品にワンウェイクラッチ入力軸を使用せず、じかに充電式

ドライバーを取り付ける場合は、充電式ドライバーに正転防止加工を施す

正転防止加工を行わずに使用し、もし充電式ドライバーを正転させた場合、充電式ドライバー自体が回転し、手首をひねる、体に当たるなどして怪我を負う危険があります。

本製品にワンウェイクラッチ入力軸を使用せず、じかに充電式ドライバーを取り付ける際は、充電式ドライバーのチャックのセンターに対して、本製品のシャフトを真っ直ぐに取り付ける

センターがずれていると、充電式ドライバーが暴れて手首をひねる、体に当たるなどして怪我を負う危険があります。

防護手袋を着用する

防護手袋は、革製で薄手のものが好ましいです。



必ず実行

使用中に壁などにぶつけないように細心の注意を払う

使用する国の法律に従って作業を行う

WLL（最大運用荷重）を守る

WLL（最大運用荷重）を超えた荷重で使用する、減速機が故障し下降（巻き下げ）ができなくなります。必ず WLL の範囲内でご使用下さい。

（WLL を超えて使用したことによる減速機の故障は、有償修理となります。）

下降（引き下げ）のスピードは、制動側のロープを手で持ち、ホルンやカラビナの抵抗と共に、手の握力を使ってコントロールする

本製品のブレーキハンドルで、下降スピードの調整はできません。

使用前点検

※ 使用前点検で異常が発見された場合、墜落する危険があるので直ちに本製品の使用を中止してください。

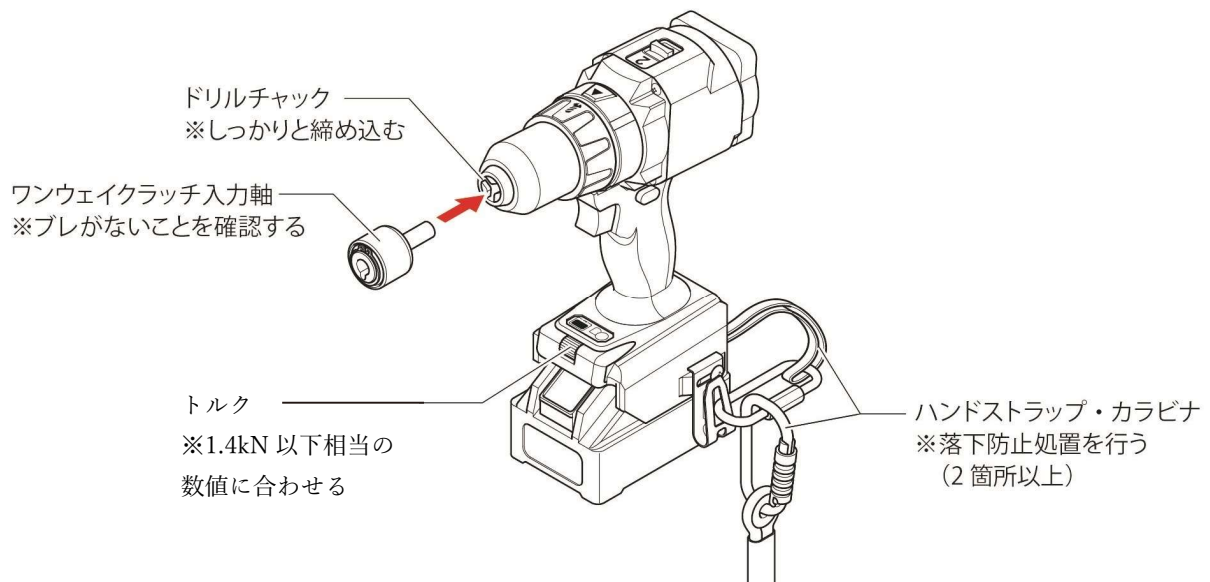
使用前点検

NSC パワーアセnderPRO 本体	チェック	判定
NSCPA-PRO 全体の傷や凹みの有無		
本製品を振ったときの異音の有無		
シャフトの取り付け状況（ガタがないか）		
バックカバーの取り付け状況（ガタがないか）		
ベースプレートの取り付け状況（ガタがないか） v		
ハンドルの取り付け状況の確認（ガタがないか）		
ハンドルの動作状況（スムーズに回転し、元の位置にスムーズに戻るか）		
ホルンの摩耗状況（2 割以上減っていないか）		
ロープガイドとボビンの取り付け状況（摩耗やガタがないか）		
フロントカバーの取り付け状況（割れやタがないか）		
フロントカバーの開閉状況（ガタがないか）		
フロントカバー内部の摩耗状況（極端に薄くなった場所はないか）		
フロントカバーヒンジの取り付け状況（ガタがないか）		
ラッチの取り付け状況と閉まり具合（ガタがないか、フロントカバーが閉まるか）		
フロントプレートの取り付け状況（ガタがないか、スムーズに回転するか）		
ブリーシャフトの取り付け状況（ガタがないか）		
ブリー内部の摩耗状況（極端な摩耗や傷がないか）		
ワンウェイラッチ入力軸の回転状況 （一方方向にはスムーズに回転し、逆方向への回転は制御できているか）		
充電式ドライバーを取り付け回転させたときの状況（異音とブレがないか）		
充電式ドライバー	チェック	判定
バッテリーの状況（満充電されているか、ロック機構は正常か）		
ドリルチャックにワンウェイラッチ入力軸が、しっかりと取り付けられているか（入力軸のブレや緩みがないか）		
落下防止処置を行っているか（2 カ所以上の落下防止処置が行われているか）		

事前準備

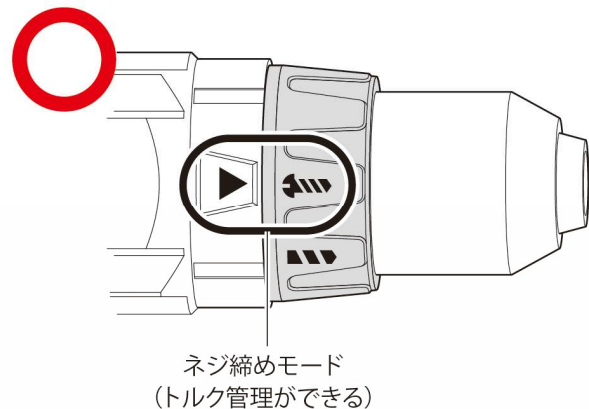
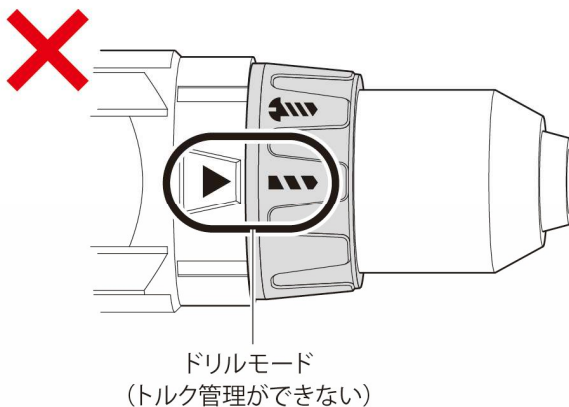
1 充電式ドライバーの事前準備

- 2 箇所以上の落下防止処置を行ってください。
- ワンウェイクラッチ入力軸を取り付け、ドリルチャックをしっかり締め込んでください。
 - ※ 充電式ドライバーにワンウェイクラッチ入力軸を取り付ける際は、充電式ドライバーのチャックのセンターにブレのないようにワンウェイクラッチ入力軸を取り付けてください。
(ワンウェイクラッチ入力軸と充電式ドライバーのセンターがずれていると充電式ドライバーが暴れて怪我をする危険があります。)
 - ※ ドリルチャックをしっかり締め込み、使用中もドリルチャックが緩んでいないか、常に確認してください。
(高所でワンウェイクラッチ入力軸が外れ落下した場合、第三者までも巻き込む大きな事故となります。)
- 充電式ドライバーを回転させ、ワンウェイクラッチ入力軸にブレがないことを確認してください。
- 充電式ドライバーのトルクを 1.40kN 以下相当の数値に合わせてください。



- ネジ締めモードになっていることを確認してください。

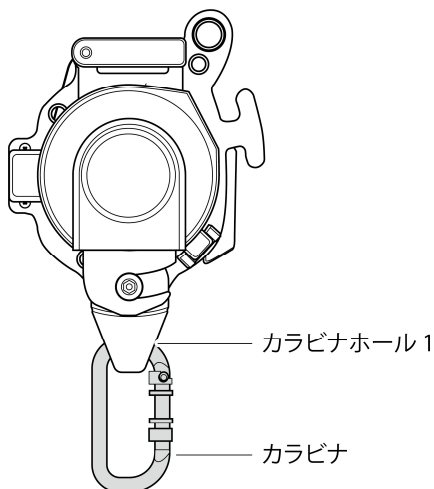
※ ドリルモードの場合、トルク管理ができません。



2 本製品の事前準備

- カラビナホール 1 にカラビナを取り付けてください。

※ カラビナは、ロック機構付きのゲートのあるカラビナのみを使用してください。



3 レスキュープランの作成

- レスキュープランを作成してください。
- レスキュープランに必要な機材を準備してください。

※ 問題が生じたときに速やかに対処できるようにしてください。

4 ロープのダブルチェック

- ロープは使用する直前に、必ず 2 人以上の手と目でチェックを行ってください。
- ロープ末端には、必ずストッパーノットを結んでください。

5 機材のダブルチェック

- 身につけたすべての機材に対して、ダブルチェックを行ってください。

6 アンカーおよび ロープ固定状況の確認

- アンカー設定後に必ず動荷重試験を行ってください。

※ 15kN 以上の荷重に耐えられる強度のあるアンカーを選定してください。

- メインロープおよびライフラインが、最小破断強度（MBS）15kN 以上のアンカーに固定されていることを確認してください。
- ロープが、確実にエイトノット以上の強度のある結び目でアンカーに固定されていることを確認してください。

7 エッジの確認

- ライン上にエッジがある場合は、必ずエッジからロープを守ってください。
- 本製品をアンカーに取り付け、荷重の掛かったロープを動かすような運用を行う場合は、高効率のベアリングが入ったエッジガードを使用してください。動くロープに対して、帆布や金属製のエッジガードを使用すると、本製品に掛かる荷重が引き上げている荷重の倍になることもあります。

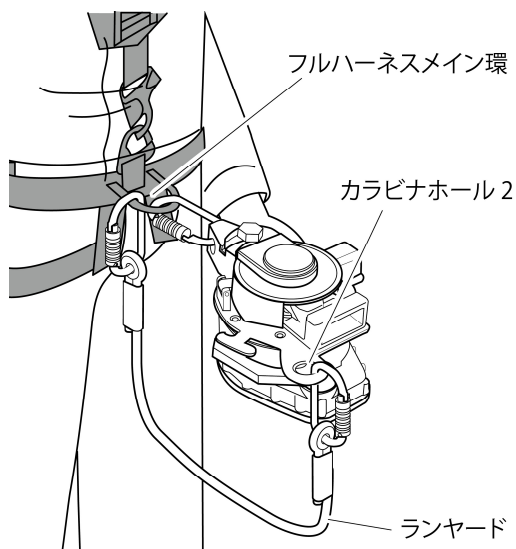
機能テスト及び登下降手順

機能テスト

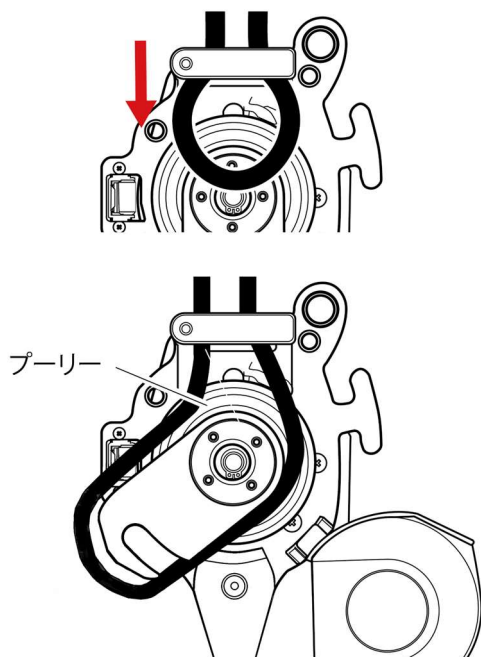
1 本製品を身体へ装着する

- 本製品をフルハーネスのメイン環へ取り付けてください。

※ 本製品をメイン環に取り付けるまでの落下防止対策として、カラビナホール2にランヤードを掛けておくと効果的です。

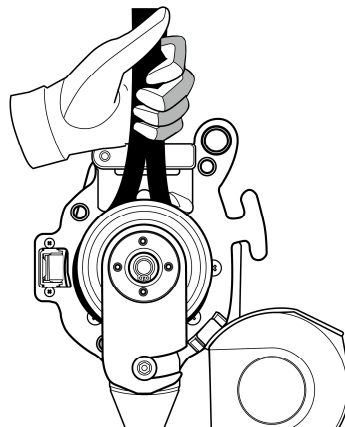


2 プーリーにロープを取り付ける

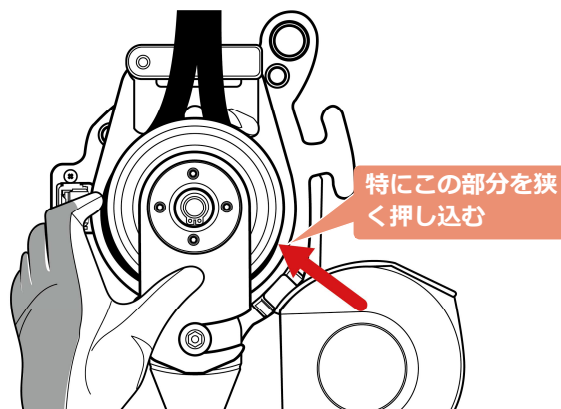


3 プーリー内部にロープを入れ込む

- 制動側のロープを上にし、本製品に荷重を掛けてください。

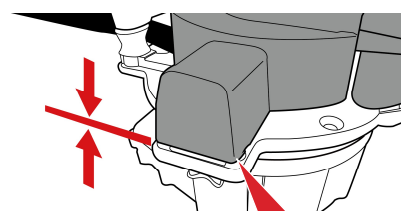


- さらに、指でフロントカバー取り付け部付近のプーリー内部にロープを押し込んでください。



4 フロントカバーを閉める

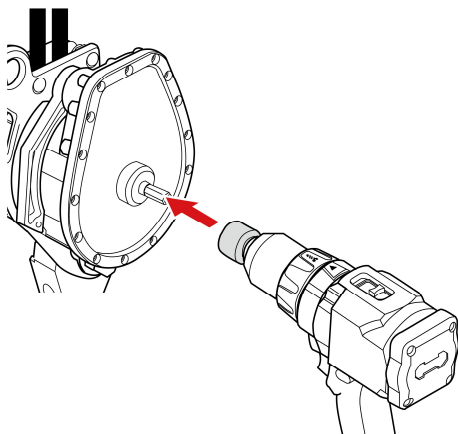
- ※ プーリー内部にロープを押し込まずにフロントカバーを閉めると、フロントカバーが破損します。



危険
完全に閉じていることを確認する

5 充電式ドライバーを取り付ける

- ワンウェイクラッチ入力軸を、
本製品のシャフトに差し込んでください。



6 本製品に荷重が掛かった状態で充電式ドライバーを1秒間逆転させる

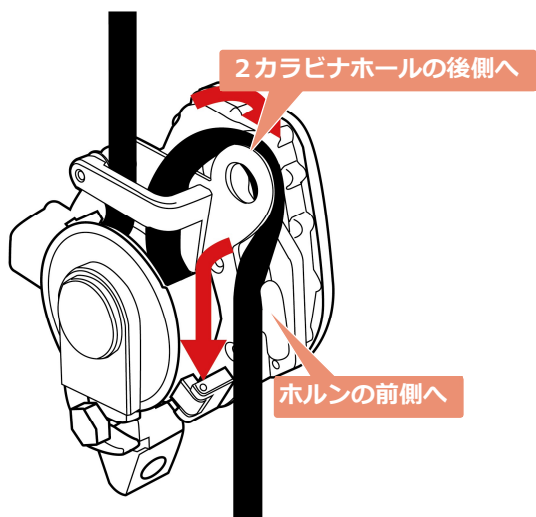
- **本製品から制御側のロープを右手で引き出し、ロープが巻き上がるのを確認してください。（地上から両足が少し浮く程度の距離を登高し安全を確認します。）**

7 本製品から充電式ドライバーを引き抜く

- 本製品が下降しないことを確認して
- ください。

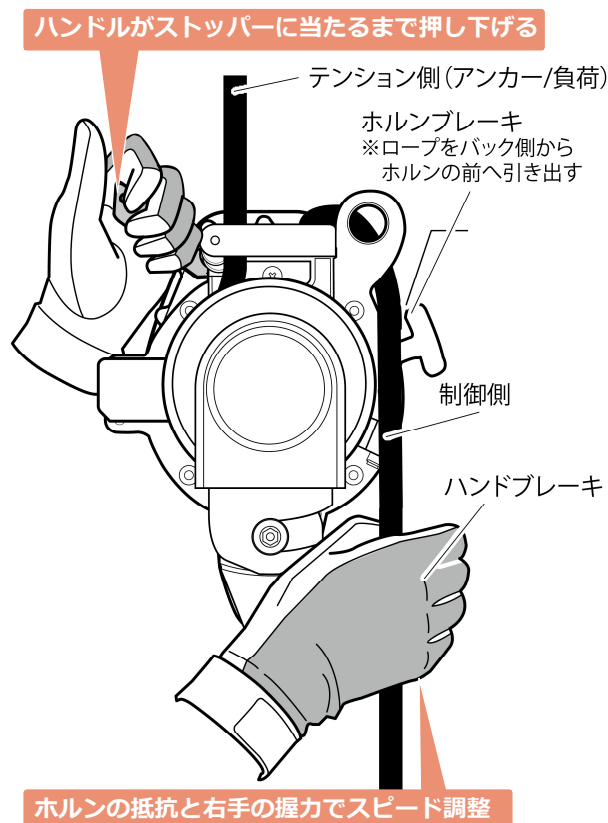
8 ロープを巻き付ける

- ・制動側ロープをロープガイド後側へ繰り出し、ホルン上部から前側へ持ってきてください。



9 下降態勢をとる

- 右手で制動側ロープをしっかりと握り、下降体勢をとってください。ロープを強く握ったまま左手でハンドルをハンドルストッパーに当たるまで押し下げ、右手の握力を緩めれば下降します。



10 下降する

- 右手の握力で固定してるロープを、握力を緩めて滑らせ下降します。そして、本製品から荷重が抜けるまで下降してください。

1 再度、充電式ドライバーを本製品に取り付けて登高を開始する

※ 登高開始時から約 3m 登高するまでは、本製品から制御側のロープを手で引き出して下さい。

2 登高終了後、本製品から充電式ドライバーを引き抜く

3 ロープを巻き付ける

- ・ 制動側ロープをロープガイド後側へ繰り出し、ホルン上部から前側へ持ってきてください。

4 下降態勢をとる

- ・ 右手で制動側ロープをしっかりと握り、ロープを強く握ったまま左手でハンドルストッパーに当たるまでハンドルを押し下げて下降態勢をとってください。

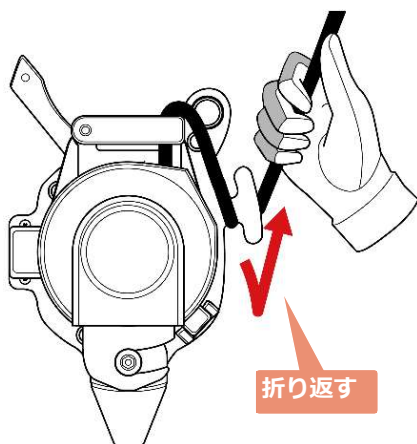
5 毎秒 1.0m 以下のスピードで任意の場所まで下降する

- ・ 右手の握力を弱めて固定してるロープを繰り出し、下降してください。

※ ハンドルの角度で下降速度の調整はできません。

荷重が大きい場合

ホルン手前へ引き出したロープを、さらにホルン後側へ折り返し、抵抗を増やして下降してください。



6 左手をハンドルから離す

- ・ ハンドルがロック位置まで戻ったことを確認してください。

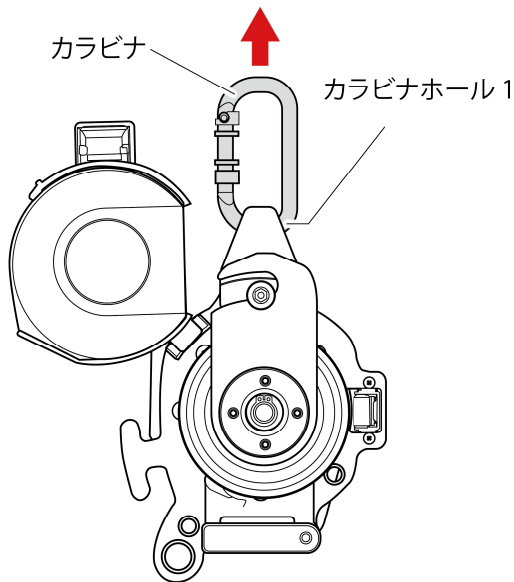
7 右手をロープから離す

※ ハンドルがロック位置まで戻ったことを確認してから右手からロープを離してください。

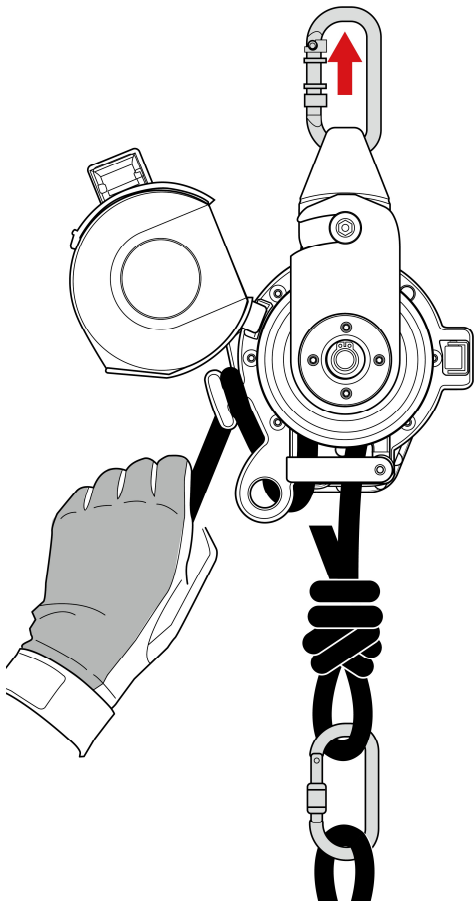
資材や人の引き上げ／引き下げ手順

1 本製品を取り付ける

- 本製品のカラビナホール 1 に接続されたカラビナをアンカーに取り付けてください。



2 本製品にロープを取り付ける



3 登下降手順の要領で 資材の荷揚げ荷下ろしを行う

- 本製品を支点に取り付け、
本製品の荷重側ロープに資材や人が接続されてい
れば正常です。

定期点検／お手入れ／保管

定期点検

- 下記に従い、3 か月ごとに実施してください。
- Kenz および Kenz が公認した会社による定期点検（ブレーキ機構の分解点検含む）は、2 年ごともしくは使用時間の累計が 800 時間ごとのうち、短い期間内で点検が必要です。（本製品は最新のワンウェイクラッチおよびブレーキ機構を取り入れていますので、最低でも 2 年に 1 度以上のブレーキ機構の分解点検が必要です。）

点検日付： 年 月 日
点検者名：

NSC パワーアセnderPRO 本体	チェック	判定
NSCPA-PRO 全体の傷や凹みの有無		
本製品を振ったときの異音の有無		
シャフトの取り付け状況（ガタがないか）		
バックカバーの取り付け状況（ガタがないか）		
ベースプレートの取り付け状況（ガタがないか）▼		
ハンドルの取り付け状況の確認（ガタがないか）		
ハンドルの動作状況（スムーズに回転し、元の位置にスムーズに戻るか）		
ホルンの摩耗状況（2 割以上減っていないか）		
ローブガイドとボビンの取り付け状況（摩耗やガタがないか）		
フロントカバーの取り付け状況（割れやタがないか）		
フロントカバーの開閉状況（ガタがないか）		
フロントカバー内部の摩耗状況（極端に薄くなった場所はないか）		
フロントカバーヒンジの取り付け状況（ガタがないか）		
ラッチの取り付け状況と閉まり具合（ガタがないか、フロントカバーが閉まるか）		
フロントプレートの取り付け状況（ガタがないか、スムーズに回転するか）		
ブリーシャフトの取り付け状況（ガタがないか）		
ブリー内部の摩耗状況（極端な摩耗や傷がないか）		
ワンウェイクラッチ入力軸の回転状況 （一方方向にはスムーズに回転し、逆方向への回転は制御できているか）		
充電式ドライバーを取り付け回転させたときの状況（異音とブレがないか）		
充電式ドライバー	チェック	判定
ドリルチャックの歪み状況（回転させた時にブレはないか）		
スイッチ類の状況（全ての動作が正常に行われるか）		

お手入れ

※ 詳細はメーカーの取扱説明書を参照してください。

- 付着したゴミを取り除き、乾いた布で拭く
- 泥などが細部に入り込んだ場合は、水道水で圧力を掛けずに洗い流してください。
- シンナー、アルコール、ベンジン、パーツクリーナーなどの科学的な洗浄材は使用しないでください。
- 本製品および内蔵された減速機は分解しないでください。

保管

- 本製品の購入者自身で丈夫なケースを準備し収納してください。
- 水に濡れている場合は、完全に乾かしてから収納してください。
- 直射日光が当たる場所、車中、水や湿気の多い場所、ゴミやほこりの多い場所、子供の手の届く場所、ガソリンや軽油などの燃料のある場所、化学薬品のある場所は避けて保管してください。

諸元表

性能一覧		結果	備考
本体	重量	2.8kg	充電式ドライバー含まず
	サイズ	145 mm × 190 mm × 145 mm	充電式ドライバー含まず
	適合ロープ	・セミスタティックロープ EN1891-A (10.5mm~11.0mm 伸び率 3%未満) ・スタティックロープ ANSI Z359.15 (11.0 mm)	水に浸したことがないロープは、使用前に必ずロープを一晩水に浸けること（荷重が掛かった際に伸びて極端に細くなるロープは使用できません。）。
	適合ロープ径	10.5mm ~ 11.0mm	プーリー内のスペーサーを入れ替えることにより 10.5mm~11.0mm に対応
	動力	別売	充電式ドライバー ※ インパクトドライバー使用厳禁
	推奨充電式ドライバー	バッテリー容量 36V 2.5Ah 以上のバッテリーを使用し、IPX6 以上の防水機能を有する充電式ドライバー	2,000rpm 以上推奨
	使用距離	バッテリー40Vmax 4.0Ah、充電式ドライバー回転数 2000rpm での使用時	バッテリー100%充電、1.00kN 荷重、気温 20℃
		バッテリー40Vmax 8.0Ah、充電式ドライバー回転数 2000rpm での使用時	バッテリー100%充電、1.00kN 荷重、気温 20℃
性能	ギア許容平均入力回転数	3000rpm	—
	使用限界荷重(WLL)	1.40kN	—
	上昇速度	入力回転数 2000 rpm 8.8m/ 分	1.00kN 荷重 (気温 20℃)
		入力回転数 2600 rpm 11.5m/ 分	1.00kN 荷重 (気温 20℃)
		入力回転数 3000 rpm 13.2m/ 分	1.00kN 荷重 (気温 20℃)
	下降速度	1.0m / 秒 以内	1.00kN 荷重 (気温 20℃)
	防水・防塵性能	IP56 (IPX6 の充電式ドライバーとの組み合わせにより、雨天での使用が可能になります。)	IEC60529、JISC0920
	ブレーキ	手動式ドラムブレーキ	—
	騒音レベル	76dB	自社試験・騒音計
	耐用年数	特に設けていません。	—
	保証期間	3 年	保証内容は本書に記載
その他	点検期間	800 時間若しくは 2 年に 1 回の、より短い期間ごと	(費用は別途)
	使用温度域	-10℃~ 45℃まで	—
	付属品	ワンウェイクラッチ入力軸 1 本、プーリースペーサー 1 枚、取扱説明書 1 冊	—
	連続使用可能距離	バッテリー 1 個分 (最大運用荷重時)	バッテリー 1 個を使用するたびに 15 分の休憩が必要 (充電式ドライバーの取り扱いに関する注意事項)
その他	加熱保護	なし	—

※ 本製品を使用する際は、充電式ドライバーの締め付け値（トルク）管理を行い、使用限界荷重以上の大きな荷重が本製品に掛からないよう注意してご使用ください。

※ 本諸元表のデータは、充電式ドライバーのメーカー及びバッテリーの違いにより変動します。

※ 本諸元表のデータは、弊社の都合により変更となる可能性があります。

保証とアフターサービス

修理

- 本製品は、使用状況により、メーカー（以下、Kenz）による定期的な分解点検が必要です。
- 修理、取り扱い、お手入れなどのご相談は、お買い上げの販売店へご連絡ください。
- 本製品の修理は Kenz および Kenz が公認した会社のみで可能です。使用者自ら修理を行わないでください。
- 修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。
（保証対象外の場合は、有償修理となります。）
- 疑問や不明点は Kenz（E-mail : k-ogura@kentechsystems.net）までご相談ください。

保証

- 保証期間：お買い上げ日から 3 年間（取扱説明書を熟読し、取扱説明用動画を視聴後、それらを証明して頂く書類に使用者のサインを頂きます。そのサインを Kenz が確認した時点から、保証が開始されます。）
- 本製品の寿命は、正しい使用方法と正しい点検整備を行っている状態で約 10 年間です。
- 本製品内及び入力軸内に内蔵されているワンウェイクラッチは、過負荷や許容回転以上の高回転により寿命が短くなります。特に、1.0m/秒超過のスピードで下降を行うと、本製品内に内蔵されたワンウェイクラッチの寿命が極端に短くなりますので注意してください。
- 原材料および製造過程におけるすべての欠陥並びに通常の使用において発生する製品の欠陥に起因する故障のみ、保証の対象となります。
（通常の磨耗や傷・酸化・不適切な保管方法・メンテナンスの不足・事故または過失による損傷・不適切または誤った使用方法による故障・分解・改造・落下・本体内部への液体や異物混入・過荷重・不適切な調整・取扱説明書に準じない使用方法で故障した場合は、保証対象外となります。）
- 極めて異例な状況において使用した場合、1 回の使用で本製品に損傷が生じ、その後使用不可能となる場合がありますが、保証対象外となります。
（劣悪な使用環境・海に近い環境での使用・水没・鋭利な角との接触・極端な高温および低温下での使用や保管・化学薬品との接触・高圧電線との接触等）
- 本製品は分解できない構造になっていますので、絶対に分解しないでください。
分解した場合は使用を中止してください。
（Kenz によって本製品の分解が確認された場合は、すべての保証対象外となります。）
- ワンウェイクラッチ入力軸は消耗品ですので、定期的な交換が必要になります。

規格と特許

- 本製品はどの国の規格も取得していません。
（2024 年 08 月現在、パワーアセnder自体の規格がどこの国にも存在していません。）
- 本製品は日本・米国・EU・中国・韓国・台湾での特許取得済みであり、一部分は特許申請中です。

お客様の個人情報に関する取り扱いにおいて

- お客様の個人情報は、当社プライバシーポリシーに基づいて適切に管理、取り扱いさせていただきます。

詳細は当社ホームページをご覧ください。

<https://kentechsystems.net/privacy-policy2/>



有限会社ケンテックシステムズ

〒350-1162 埼玉県川越市南大塚 1-24-3

TEL : 049-241-8364

FAX : 049-265-6120

<https://kentechsystems.net/>

お問い合わせ先

✉ k-ogura@kentechsystems.net